

《キャリアパスポート》

保護者の方にコメントをもらったものを、20日(月)までに担任の先生に提出してください。

《修学旅行2日目》 ※前号につづき、修学旅行について

2日目は朝からあいにくの天気でした。ホテルから明石海峡大橋をバックにクラスの集合記念写真を撮影しましたが、小雨がちらついていて、しかも少し寒かったです。この日は海岸での活動なので、不安がよぎります…。2日目は、クラスによって行先が違うバスプランです。各クラスで4つのコースから希望のコースを選んだのですが、1・2・4組は同じで「パルシェ」を希望、3・5組は「イングランドの丘」を希望したので、結局2つのコースに分かれることになりました。

パルシェは、お香の生産量が日本屈指の淡路島にある「香り」がテーマの観光施設です。

各自でローズヒップのハーブ石けん作りをしました。お土産で家に持ち帰ったと思います。みなさん使ってみました? 体験が終わった生徒から、お土産館でお土産を購入したり、温室をのぞいたり、庭でのんびりしました。



イングランドの丘は、自然いっぱいの農業公園・動物園で、コアラもいます。コアラは1日のうち18~20時間眠りますので、なかなか起きているところに会えないのですが…なんと、みなさんが行った時には起きていて、野坂先生にカメラ目線すら送っていました。

動物園だけでなく、ハーバリウム作りも楽しそうでした。小さないろいろな花の部品をガラスの小瓶につめていき、オイルを流し込んで作ります。一人一人つめる花の組み合わせが違って、個性があってステキでした。



どのクラスも、海岸でビーチクリーン活動をしました。海岸の漂着物を回収し、色分けして、それを配置してアート作品を創るというこの活動は、イギリス人アーティストのTony Craggさんの活動をまねしてみようというものです。ビーチを探索して、「どんなものがあるか」「どこから来たのか」「誰が作ったものか、自然か、人工か」「どうしてここに漂着したのか」から、私たちは「さて、どうする?」を考えてみようというものでした。



心配していた天気でしたが…朝とは違って、穏やかで風もない、寒くもないちょうどよい活動日和となりました。午後に活動したクラスでは、もはや晴天でした。不思議です…。

トンゴと軍手で回収を始めてみると、今まで綺麗だと思っていた砂浜には、いろいろな色の漂着物（ほとんどは家庭ゴミでしたね）があることに気が付きました。なぜこんなものが…とってしまう物も多くて、びっくりです。探せば探すほど出てくるので、私たちはいろいろなものが見えていくつもりで、実は見えていないのかも、とさえ思いました。

アートに変えようと回収していったので、気が付けば「素材」を探して集めていました。「この赤いいよね」なんて言いながら、どんなふうに使えるか…なんて想像しながら歩きます。回収したゴミを捨てるだけの活動なら、最後までゴミのままですものね。

回収物をクリーニングした後は、シラス網の上に班で相談しながら配置していきます。最初は、あまり乗り気になれない班もありましたが、あれこれ話しながらアイデアを出し合ってイメージが膨らんでいくと、だんだん作品になっていきました。最後は作品と班員で記念撮影です。その後、作品は野島断層保存館や淡路市の津名図書館で展示されていましたが、スタッフの方が淡路島から高岡中までトラックで運んでくれて、今日から生徒玄関奥のホールでも展示しています。



その後は、野島断層保存館を見学しました。阪神淡路大震災でできた断層をそのまま保存している他、震災に関する多くの資料を展示し、地震の凄まじさと脅威を伝え続ける施設です。

最後に、阪神淡路大震災を実際に経験した語り部からの、当時のお話を聞かせてもらいました。みなさんが生まれる前の話なのに、昨日のこのようにその時の情景をお話されていました。涙なしでは聞けない話が多かったです。防災には限界があるが、減災は準備しだいである——話を聞きながら、身が引き締まる思いになりました。

1・2・4組はハイウェイオアシスに立ち寄り、ホテルに全クラスが帰った後は夕食です。夕食が始まる直前、旅行会社の方がとても申し訳なさそうな顔で先生のところに相談にきました。昨日はご飯のおかわりが想定以上で、できる限り用意しておいたご飯も全部なくなり足りなくなってしまって…申し訳ないが、おかわりする量を減らしてもらえないか…というホテルからのお願いの件でした。何度も修学旅行の引率に来ましたが、そんなことを言われたのは初めてです。みなさんに伝えたら大笑いでした。日頃の給食を含め、たしかにみなさん元気におかわりしてくれるので、とても健康的でステキだと思っています。とりあえず一人おかわり1回までにして、その後は様子を見て2回目、3回目…としました。思い出の一つです。



そして、明日はUSJ。少しでも滞在時間を延ばすために、みんなで早起きすることになりました。明日すぐにチェックアウトできるように荷物をまとめたり、部屋を整頓したり、早く眠ったりするなど、みんなで協力して、そして——どの部屋もすぐに眠ってくれました。

次回の学年だよりでは、修学旅行3日目のUSJについて掲載する予定です。

